

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

## 第8回 定時総会

# 議 案 書

日 時 令和元年6月21日（金）午後2時

場 所 コミュニティながいずみ 3階ホール（下土狩駅前）

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

駿東郡長泉町桜堤1丁目10番9号 長泉町ワークプラザ内

TEL (055) 988-2670

FAX (055) 988-2681

E-mail:nagaizumi@sjc.ne.jp ホームページはこちら



## 第8回 定時総会次第

1. 開会のことば
2. 理事長 挨拶
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 定足数の確認
6. 議事録署名人の指名
7. 報告事項

監事の監査報告

平成30年度事業報告

8. 議 事
  - 第1号議案 平成30年度収支決算について
  - 第2号議案 役員（理事、監事）の選任について

9. 議長退任
10. 事務報告
11. 表彰
  - 会員在籍20年表彰
  - 会員在籍10年表彰

12. スローガン唱和
13. 閉会のことば

---

\* 上記終了後、会員互助会総会を行います

# 監査報告書

令和元年5月9日

公益社団法人長泉町シルバー人材センター  
理事長 内田 将善 様

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

監事 小池 友治 ㊞

監事 飯塚 茂 ㊞

(原本は、署名押印済みです。)

私たち監事は、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの平成30年度における会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 公益社団法人長泉町シルバー人材センターの平成30年度の事業報告及びその附属明細書の内容は真実であり、法令及び定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

### (2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

公益社団法人長泉町シルバー人材センターの平成30年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

報告事項

## 平成30年度事業報告

平成30年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター事業報告について、  
定款第36条第2項の規定により報告する。

令和元年 6月21日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター  
理事長 内田 将善

## 平成30年度事業報告

少子高齢化、人口減少社会により労働人口の減少が懸念され、超高齢社会が進展する中で、我が国の社会経済の活力を維持するためには、生涯現役を目標とし、できるだけ多くの高齢者が健康で社会の中で活躍、貢献することが必要であり、それらを担う仕組みの一つとして、シルバー人材センターの役割はますます重要となっています。

しかしながら、65歳までの継続雇用、年金支給年齢の段階的引き上げや労働者派遣法の一部改正、働き方改革など、60代の会員加入環境は依然として厳しい状況であります。

こうした中で、当センターは、組織運営においても事業実施においても公益法人としての役割を強く意識し、適正就業の推進、役職員の企業訪問など、就業機会の拡大のための積極的な活動を行うとともに、安全就業の推進、植木剪定講習など技能を必要とする就業において後継者育成を図り、女性の講座や会員交流事業を進める等、会員増加にも取り組んだ年でもありました。

平成30年度末現在では

会員数	358人	賛助会員	22人	会員	
就業実人員	請負292人	派遣18人	合計	310人	
	(請負と派遣を重複して就業している場合、派遣を減員しています。)				
就業率	86.6%	就業延人数	37,387人		

会員数は1人の増、請負が減少し、派遣が増加となり、請負事業と派遣事業を合わせると、2.0%、357万円増の、1億8千348万円の事業実績となりました。

これまで独自事業の展開を目指して開催されてきた「会員ふれあい文化祭」を、会員同士の交流や地域高齢者の福祉増進等を目的に加え、実行委員会を組織して、計画し、実施した結果、多くの会員と地域住民の方々に来場いただき目的を達成することができました。

また、当シルバー人材センターのPRのため、事業情報の要である会報「いぶしぎん」やホームページ及び町の「広報ながいずみ」等を活用した広報活動を通して更なる組織強化を図っているところであります。

「安全は全てに優先する」という考え方を基に、就業中や就業途上等の事故防止のため、安全委員会を中心に安全パトロール、安全講習会等を実施するとともに、熱中症対策として、猛暑時の巡回による注意喚起と「熱中症見舞金制度」に加入することとしました。

今後とも、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神をモットーに役職員と会員が連携を図り、更に関係機関のご支援を得ながら地域社会のニーズに応えられる事業展開をしてまいります。

以下、平成30年度事業実施状況について報告します。

## 1 組織の拡大強化

会報「いぶしぎん」、町広報「ながいずみ」等により、シルバー人材センターの業務内容と会員募集を掲載し、町内へのPRや会員からの紹介活動を実施した結果、入会者が40人ありました。一方、病気、加齢、死亡、転居、就職などによる退会者は39人おり、合計では前年と比べ1人増にとどまり、358人となりました。

また、今年度から開始した「新入会員拡大の推進に関する報奨制度」を利用した紹介者は17人となり、会員増加に一定の役割を果たしました。

地域懇談会等を通じて事業の推進に努め、植木剪定、草刈り、草取り、表装、衣服のリフォーム、屋内外清掃、子育て支援、家事援助など、就業事業ごとの組織拡大に努めました。

## 2 事業実績

経済情勢の厳しい中で、事業内容などあらゆる機会に広報活動し、受託事業の拡大に努力しました。請負の事業収入は、1億6千224万円余りで前年度に比べて7.9%減、金額で1千396万円減と大幅な減収となりました。

一方、派遣事業については、2千124万円で、前年度に比べ5.7倍、1千754万円の増となりました。

また、請負での就業延人員は34,378人で、前年度に比べ2,288人減少となりましたが、派遣事業の就業延人員3,009人を加えると37,387人で、合計では235人の増となりました。

事業収入増減の要因として公共で、工芸村が受託減となったものの、民間では、派遣企業が受注を伸ばし、植木の剪定で増加したのが主なものです。

## 3 広報活動

シルバー人材センターの事業内容及び活動状況などを掲載した会報「いぶしぎん」を2回発行し、各区や関係者の方々の協力を得て町内回覧を行いました。

ホームページには新たな情報を随時更新し、当シルバー人材センターの事業活動等を広くPRしました。また、町のご理解により「広報ながいずみ」にシルバー人材センターの会員募集及び各種講習会を掲載させて頂き、町民にPRするとともに、行事開催時には新聞社へのアピールにも努めました。

他に、町主催や社会福祉協議会主催行事等へ積極的に参加し、出店に併せてパンフレットを配布しました。

## 4 就業機会の拡大、就業開拓

「仕事を待っている」のではなく「打って出る営業」を行うとともに、ニーズの的確な把握に取り組むため、役職員及び会員が一致協力して就業機会の拡大、就業開拓を図りました。今年度試験的に取り組んだ、軽作業の拡大は、封入封緘作業10人と会報配布、7人の会員の協力により進める事ができました。また、ハローワークや公共施設等にチラシの設置、福祉会館の協力でお仕事情報の掲示もしていただきました。

## 5 講習会、研修会等

### (1) 主催した会員講習会等

#### ア 入会説明会

入会の希望者に対して毎月20日前後に説明会を開催し、「入会のご案内」等の資料をもってシルバー人材センターの目的、組織、会員との関係、理念など基本的事項を説明し理解していただいた上で入会申込み受付を行います。

した。

開催年月日 平成30年4月20日～平成30年3月20日（12回）  
出席者 42人（うち入会者 26人 入会率62%）

#### イ 交通安全講習会

裾野警察署と交通安全指導員の協力を得て、町内の事故発生状況や高齢者事故の特徴と対策についての講話、DVD「自転車事故を防ぐために」、体験講習「可搬式ドライブシミュレーター」「クイックアーム」などを交えた講習会を実施しました。

開催年月日 平成30年8月15日（水）  
会場 町在宅福祉総合センター  
参加者 36人

#### ウ 独自事業講習会

講師を招き講習を実施しました。

- 篆刻講習 開催月 4月～3月  
参加者 37回 延262人
- 表装講習 開催月 4月～1月  
参加者 22回 延66人
- フラワーアレンジメント講習 開催月 4月～3月  
参加者 11回 延76人

#### エ 女性会員拡大のための講習会

女性に興味のあるテーマの講習会を開催し、シルバーのイメージアップと会員加入促進を図りました。

##### ○メイクセミナー

開催年月日 平成30年4月25日  
参加者 31人（会員9人、一般22人）  
〈内容〉ファンケル講師による、スキンケアからメイクアップの方法まで実地講習

##### ○シニア世代のためのフードセミナー

開催年月日 平成30年5月24日  
参加者 39人（会員16人、非会員23人）  
（内容）キューピー講師による「楽しく食べて健康に」の講義と、  
静鉄ストア講師による食材選びの基礎、健康レシピの提案

##### ○健康美体操

開催年月日 平成30年9月14日  
参加者 36人（会員10人、非会員26人）  
（内容）ストレッチやリズムダンスで楽しく体を動かす体操

##### ○髪のアンチエイジング

開催年月日 平成30年11月19日

参加者 26人(会員15人、非会員11人)  
(内容) 髪の病院キュアトリエ講師による、白髪、抜け毛から  
美しい髪の取り戻し方講座

オ スマイルtoスマイル(会員情報発信)とスマホ教室  
平成31年2月からスマートホン等で、情報を登録すると、配分金情報や、センターからのお知らせ、仕事の情報提供と申込みができるようになりました。これに合わせて、スマホセミナーをAUショップ(株)STC講師により開催しました。

平成31年2月22日 9人受講

カ 植木剪定技能講習、刈払機、チェーンソー安全衛生講習会

- ・植木剪定講習 平成30年9月25日～10月3日(5日間)  
(加々見園) (参加者)11人(会員9人 非会員2人)
- ・刈払機作業者 平成30年7月16日 (受講者)3人  
安全衛生講習会

キ 高齢者活躍人材育成事業(長泉町会場:静岡県シ連主催)

**【軽度生活援助(調理編)技能講習】**

在宅ひとり暮らし高齢者の自立支援を目的に行われる調理サービスについて、その基礎から専門知識まで、鈴木学園の講師による2日間の実習を含む講座を県シ連主催の講座として開催しました。

開催年月日 平成30年8月27日～28日(2日間) 鈴木学園  
参加者 9人(会員8人、非会員1人)

(2) 役職員等会議研修会(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

4月18日	県シ連事務局長会議	静岡市
5月29日	公益社団法人実務担当者説明会	静岡市
6月14.15日	東海シ連総会	浜松市
6月25日	県シ連総会及び役職員研修	静岡市
6月29日	全シ連派遣実務担当者会議	名古屋市
7月10日	安全・適正就業研修会	静岡市
8月1日	派遣元責任者講習	東京都
8月24日	新任理事研修	静岡市
8月30日	新任局長研修	東京都
9月28日	消費税講習	静岡市
10月22日	全シ連指導研修	静岡市
12月14日	東部ブロック事務局長会議及び研修会	熱海市
1月22日	有料職業紹介事業講習会	東京都
1月28日	県シ連事務局長会議及び研修会	静岡市
2月7.8日	沼駿シルバー研究会	伊豆の国市
3月8.9日	東部ブロック事務局長会議.総会全職員研修会	伊豆の国市



## 6 地域社会奉仕活動

- (1) ボランティア町内一斉美化活動 〈実施年月日〉  
30周年記念式典当日のため中止
- (2) 桜堤遊歩道の清掃ボランティアとウォーキング  
桜堤遊歩道をウォーキングしながら、ごみ拾い等の清掃ボランティア活動として、毎月1回第3水曜日に実施。(清掃用具は事務所に用意)  
平成30年4月～平成31年3月 12回 〈参加者〉 83人
- (3) 長泉中学校あったか体験学習へのボランティア講師  
平成30年11月26日に、リフォーム班1名がきな粉飴・げんこつ飴作り、木工班1名がロープワークの講師として参加しました。

## 7 会議関係

- (1) 総会  
第7回定時総会  
開催日時 平成30年6月22日(木) 13:30～  
開催場所 コミュニティながいずみ 3階 ホール  
出席会員数 289人(うち議決権行使書による書面表決者195人)  
会員数 351人 合計出席率 82.3%  
第1号議案 平成29年度収支決算について  
第2号議案 役員(理事)の選任について
- (2) 理事会  
第1回 平成30年5月17日  
第1号 平成29年度監査報告について  
第2号 平成29年度事業報告承認について(総会報告事項)  
第3号 平成29年度収支決算承認について(総会第1号議案)  
第4号 役員(理事1名)の選任について(総会第2号議案)  
臨時理事会 平成30年6月22日  
第1号 常務理事の選出について  
第2回 平成30年7月26日  
第1号 専門部会等の構成について  
第3回 平成30年9月13日  
第1号 ふれあい文化祭実行委員会設置要綱の制定について  
第4回 平成30年11月29日  
第1号 平成30年度補正予算(案)について  
第2号 シルバー人材センター事務費の改定について  
第5回 平成31年1月24日  
第1号 平成31年度定時総会の日程、場所について  
第6回 平成31年3月20日  
第1号 表彰規程の一部改正について  
第2号 職員就業規程の一部改正について  
第3号 嘱託職員の給与・勤務時間等に関する規程の一部改正  
第4号 平成31年度事業計画について  
第5号 平成31年度収支予算について

(3) 各部会等

ア 総務部会 平成31年2月13日

表彰規程、職員就業規程、嘱託員給与等規程の改正について

イ 事業部会 平成30年11月12日

- ・草取り単価 904 円 (旧 854 円) H31. 4. 1 改定について
- ・最低賃金改定に伴う配分金 858 円 (旧 832 円) H31. 4. 1 改定について
- ・事務費 8 % (旧 5 %) H31. 10. 1 改定について

ウ 先進SC理事視察(磐田市) 平成31年2月6日 15人

空き家管理、会員拡大 カルマー式草刈り取扱い

(4) 業務執行状況及び会計監査

○平成30年度分会計及び業務監査(当センター監事) H31. 5. 9

(5) 地域班長会

- 第1回 H30. 6. 5
- ・定時総会について
  - ・地域懇談会開催について
  - ・秋の研修旅行について

(6) 安全委員会活動状況

ア 安全委員会活動

第1回安全委員会 H30. 7. 4

- ①平成29年度事故発生状況について
- ②平成30年度の安全就業実施計画について

第2回安全委員会 H31. 3. 20

- ①平成30年度の事故発生状況について
- ②平成31年度の安全就業実施計画について

安全就業パトロール

- ①一般家庭、企業、公共施設の草刈、草取り、剪定作業現場を巡回し、ヘルメット、安全ベルトの着用、作業時の服装、脚立の掛け方等についてチェックし、会員の安全就業状況を確認しました。

H30. 9. 12 1箇所

- ②職員による日常パトロール H30. 4~31. 3 47箇所

③安全適正就業推進研修会 H30. 7. 10 静岡市

講演と事例発表 安全委員会委員7人・職員1人が参加しました。

イ 安全就業の徹底

安全対策は、就業中や就業途上の交通事故等の事故防止のため安全パトロールや、交通安全の講習、会報「いぶしぎん」などによる啓蒙、夏季猛暑時には、2回(7/23, 8/27)の巡回活動を行い熱中症対策に努め、事故ゼロを目指してまいりました。併せて、本年度から「熱中症見舞金制度」に加入して、1人の方が申請しました。

平成30年度の事故は11件で前年度と比べて6件減少しました。11件の事故種別は次表のとおりです。

(7) 平成30年度 月別事故状況

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
傷 害	0	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	6
物 損	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	0	2	2	1	1	0	1	1	1	0	11

【内訳】：傷害事故：屋外軽作業中の事故 3件 屋内軽作業中の事故 1件  
 剪定作業中の虫さされ事故3件（うち蜂2件・茶毒蛾1件）  
 物損事故：草刈り中の飛石事故 4件 植木剪定時の事故 0件

(8) 地域懇談会

開催年月 30年8月～9月 8回開催  
 参加者 92人 参加率 26.2%  
 内容 ・会員からの意見、要望について  
 ・事務局からの連絡事項

※懇談会での意見・要望をもとに、4点について改善を図りました。

## 8 ふれあい文化祭

会員の趣味・特技から独自事業の展開を目指して開催されてきた「会員ふれあい文化祭」を、会員同士の交流と地域高齢者の福祉増進、就業機会の確保を目的に加え、計画から準備、実施段階まで、実行委員会を中心に目的達成に向け準備を進めてきました。

広報では、昨年展示された会員の作品の中からからポスターを作成し、公共施設等に掲示、近隣のチラシポスティングや配布、コミュニティFMや新聞等の掲載依頼も行った結果、開催日を短縮したにも関わらず、昨年と同様265人の方に来場いただきPRができました。又、コミュニティカフェでは会員相互の交流も深める事ができました。

開催期日 平成31年1月27日(日)  
 参加者 265人(会員 147人、一般118人)  
 作品展示 72人 177点  
 準備検討 実行委員会4回 部会2回

(イベント内容)

軽トラ市 パターゴルフ、輪投げ、わたがし、独自事業（リフォーム班、手作り班、木工班）製品販売、スタンプラリー、カラオケ、折り紙、パズル、カフェ、おしるこ、みのり製品販売、シルバーなんでも相談

## 9 地域社会行事等参加

町内行事に参加することで、地域の活性化、にぎわい作りに寄与し、併せてシルバー人材センターのPRのため、独自事業の一環として、日ごろ作りあげた作品を出展販売しました。併せて会員募集や仕事の依頼のパンフレットを配布しました。

〈参加行事〉	〈開催年月日〉	〈参加者〉
・サクラサクまつり	H30.4.8	8人

・福祉健康まつり	H30.10.21	8人
・町産業祭	H30.11.25	8人

## 10 創立30周年記念事業

平成29年9月28日に実行委員会を設置して、延6回の検討を重ね式典の準備を進めてきました。当日は、招待者、会員合わせて202名の出席により式典が盛大に執り行われました。

式典終了後は、一般の方も含め「おやーじ北島」「桂三四郎」の演芸で楽しみました。

就業事業所感謝状	11社	理事監事表彰	16人	在籍30年表彰	3人
在籍20年表彰	17人	職員表彰	1人		

## 11 シルバー派遣事業

請負や委任業務について、指揮命令を伴う仕事はシルバー派遣事業に切り替えるなど、法令遵守に基づく適正就業を推進するとともに、新たな受注拡大と就業形態への対応及び会員の多様な就業を確保するため、県シ連と連携してシルバー派遣事業に取り組みました。

派遣事業所	4社	就業実人数	30人（内請負との重複12人）
就業延人数	3,009人	派遣契約実績	21,241,084円

## 平成30年度事業報告 附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 会員の現況

平成31年3月末現在

## 会員の年齢別構成表

年齢(歳)	男性	女性	合計	構成比
～59	0	0	0	0.0%
60～64	5	6	11	3.1%
65～69	38	31	69	19.3%
70～74	69	46	115	32.1%
75～79	59	46	105	29.3%
80～	34	24	58	16.2%
合計	205	153	358	100%
構成比	57.3%	42.7%	100%	

## 会員の平均年齢

男性	女性	合計
74.7歳	74.1歳	74.4歳

## 会員の最高年齢

男性	女性
97歳	91歳

## 会員入退会状況

区分	入会		退会		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
期初会員数					203	154
期中入退会	26	14	24	15	2	-1
期末会員数					205	153
期初会員357名	入会	40名	退会	39名	総会員数	358名

## 退会者理由別人員

区分	男性	女性	合計
病気のため	5	6	11
就職のため	2	5	7
死亡のため	3	0	3
仕事がない	1	0	1
家庭の事情	3	1	4
加齢	6	3	9
その他	4	0	4
合計	24	15	39

## 在会期間別会員数

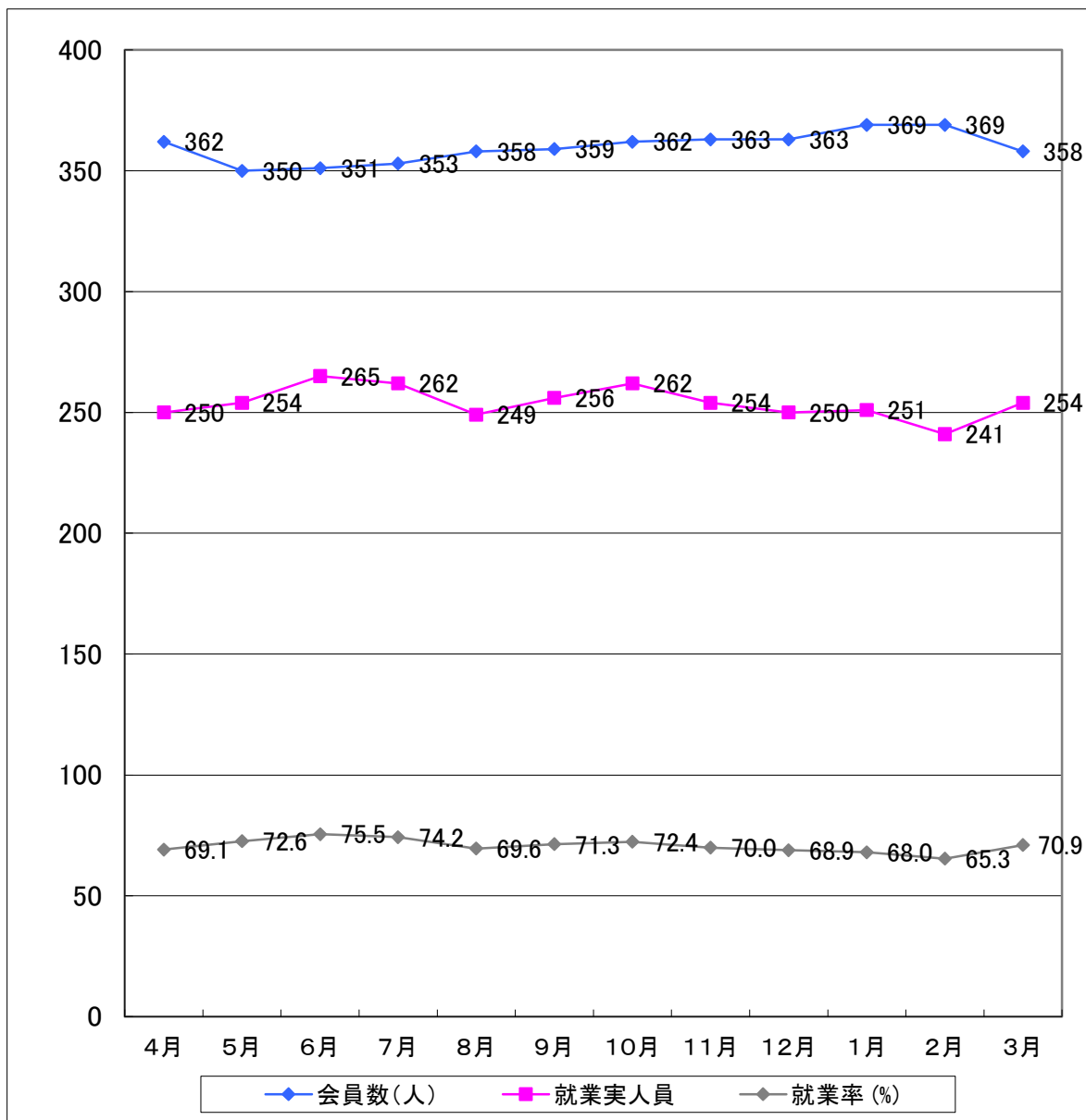
区分	男性	女性	合計
1年未満	26	14	40
1年～2年未満	16	12	28
2年～4年未満	25	30	55
4年～6年未満	32	17	49
6年～8年未満	19	16	35
8年～10年未満	23	9	32
10年以上	64	55	119
合計	205	153	358

平成30年度 月別事業実績(1)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員数(人)	362	350	351	353	358	359	362	363	363	369	369	358
就業実人員	250	254	265	262	249	256	262	254	250	251	241	254
就業率(%)	69.1	72.6	75.5	74.2	69.6	71.3	72.4	70.0	68.9	68.0	65.3	70.9

※毎月の就業実人員は、同じ月に派遣と請負を就業した場合、重複してカウントしています。

※年間就業実人数 310 人 ※年間就業率 83.2 %  
 (派遣と請負の重複12人を調整済み)



平成30年度 月別事業実績(2)

月	会員数	請 負									
		就業 実人員	就業率	事業	受託件数	就業延人員	契約金額 (単位:円)				累計
							配分金	材料費等	事務費	合計	
4	357			公	20	470	2,066,968	145,197	101,190	2,313,355	2,313,355
	362	232	64.1%	民	189	2,204	8,911,268	254,569	425,107	9,590,944	9,590,944
				計	209	2,674	10,978,236	399,766	526,297	11,904,299	11,904,299
5				公	39	637	2,861,699	393,983	140,542	3,396,224	5,709,579
	350	230	65.7%	民	295	2,507	10,136,001	543,630	479,728	11,159,359	20,750,303
				計	334	3,144	12,997,700	937,613	620,270	14,555,583	26,459,882
6				公	35	604	2,747,953	383,669	134,283	3,265,905	8,975,484
	351	241	68.7%	民	237	2,444	10,192,883	626,032	484,400	11,303,315	32,053,618
				計	272	3,048	12,940,836	1,009,701	618,683	14,569,220	41,029,102
7				公	41	607	2,811,284	332,320	137,500	3,281,104	12,256,588
	353	234	66.3%	民	294	2,637	11,855,189	959,150	560,284	13,374,623	45,428,241
				計	335	3,244	14,666,473	1,291,470	697,784	16,655,727	57,684,829
8				公	32	593	2,718,205	371,413	132,419	3,222,037	15,478,625
	358	221	61.7%	民	243	2,300	9,587,467	652,774	454,140	10,694,381	56,122,622
				計	275	2,893	12,305,672	1,024,187	586,559	13,916,418	71,601,247
9				公	41	659	3,079,783	490,285	149,849	3,719,917	19,198,542
	359	232	64.6%	民	257	2,197	8,446,563	531,307	403,080	9,380,950	65,503,572
				計	298	2,856	11,526,346	1,021,592	552,929	13,100,867	84,702,114
10				公	42	638	2,971,258	395,103	144,680	3,511,041	22,709,583
	362	240	66.3%	民	308	2,710	12,012,054	944,073	565,279	13,521,406	79,024,978
				計	350	3,348	14,983,312	1,339,176	709,959	17,032,447	101,734,561
11				公	25	522	2,245,407	184,797	110,179	2,540,383	25,249,966
	363	231	63.6%	民	262	2,434	10,647,642	656,640	503,202	11,807,484	90,832,462
				計	287	2,956	12,893,049	841,437	613,381	14,347,867	116,082,428
12				公	31	638	2,764,426	199,214	135,704	3,099,344	28,349,310
	363	227	62.5%	民	233	2,256	9,037,993	587,108	428,217	10,053,318	100,885,780
				計	264	2,894	11,802,419	786,322	563,921	13,152,662	129,235,090
1				公	26	497	2,173,081	186,972	105,768	2,465,821	30,815,131
	369	228	61.8%	民	151	1,798	7,350,558	419,442	348,096	8,118,096	109,003,876
				計	177	2,295	9,523,639	606,414	453,864	10,583,917	139,819,007
2				公	24	451	1,872,300	215,400	91,756	2,179,456	32,994,587
	369	218	59.1%	民	179	1,963	7,624,665	373,792	365,577	8,364,034	117,367,910
				計	203	2,414	9,496,965	589,192	457,333	10,543,490	150,362,497
3				公	41	642	3,163,796	386,750	155,140	3,705,686	36,700,273
	358	231	64.5%	民	151	1,970	7,780,899	22,002	370,838	8,173,739	125,541,649
				計	192	2,612	10,944,695	408,752	525,978	11,879,425	162,241,922
計				公	397	6,958	31,476,160	3,685,103	1,539,010	36,700,273	
	358	292	81.6%	民	2,799	27,420	113,583,182	6,570,519	5,387,948	125,541,649	
				計	3,196	34,378	145,059,342	10,255,622	6,926,958	162,241,922	
月 平 均				公	33	580	2,623,013	307,092	128,251	3,058,356	
				民	233	2,285	9,465,265	547,543	448,996	10,461,804	
				計	266	2,865	12,088,279	854,635	577,247	13,520,160	

平成30年度 月別事業実績(3)

月	派遣			派遣+請負		
	就業実人員	就業延人員	契約金額	就業実人員合計	就業延人員合計	契約金額合計
4					470	2,313,355
	18	187	1,413,207	250	2,391	11,004,151
					2,861	13,317,506
5					637	3,396,224
	24	250	1,775,709	254	2,757	12,935,068
					3,394	16,331,292
6					604	3,265,905
	24	267	1,759,400	265	2,711	13,062,715
					3,315	16,328,620
7					607	3,281,104
	28	301	1,989,224	262	2,938	15,363,847
					3,545	18,644,951
8					593	3,222,037
	28	285	1,961,295	249	2,585	12,655,676
					3,178	15,877,713
9					659	3,719,917
	24	257	1,840,807	256	2,454	11,221,757
					3,113	14,941,674
10					638	3,511,041
	22	254	1,823,473	262	2,964	15,344,879
					3,602	18,855,920
11					522	2,540,383
	23	241	1,745,570	254	2,675	13,553,054
					3,197	16,093,437
12					638	3,099,344
	23	250	1,797,753	250	2,506	11,851,071
					3,144	14,950,415
1					497	2,465,821
	23	235	1,683,982	251	2,033	9,802,078
					2,530	12,267,899
2					451	2,179,456
	23	238	1,701,193	241	2,201	10,065,227
					2,652	12,244,683
3					642	3,705,686
	23	244	1,749,471	254	2,214	9,923,210
					2,856	13,628,896
(派遣実人員)	30				6,958	36,700,273
計(注1)	18	3,009	21,241,084	310	30,429	146,782,733
		3,009	21,241,084	86.6%	37,387	183,483,006
月 平 均	公			/	580	3,058,356
	民	251	1,770,090		2,536	12,231,894
	計	251	1,770,090		3,116	15,290,251

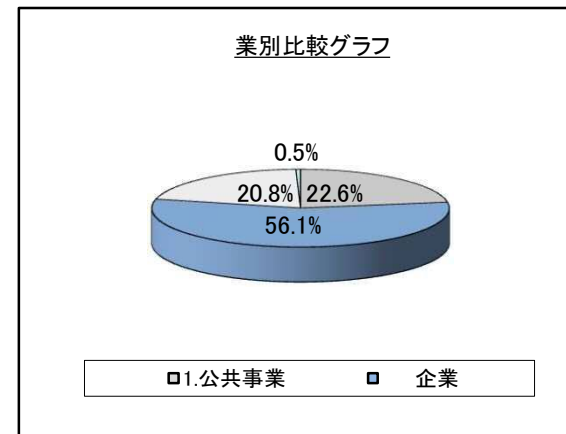
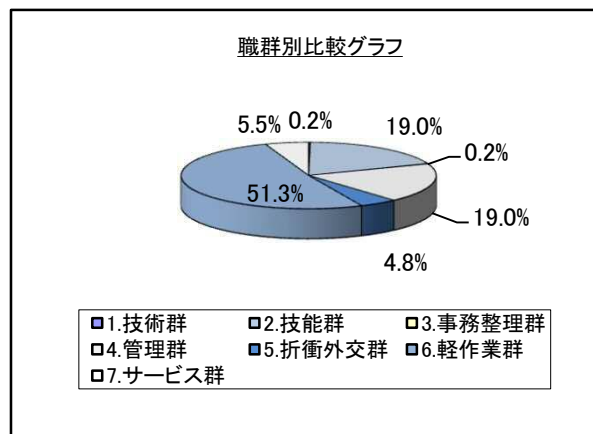
(注1)派遣の実人員計は、派遣実人員数から請負を重複して就業している人数を引いてあります。



## 職群別・公共民間別事業実績

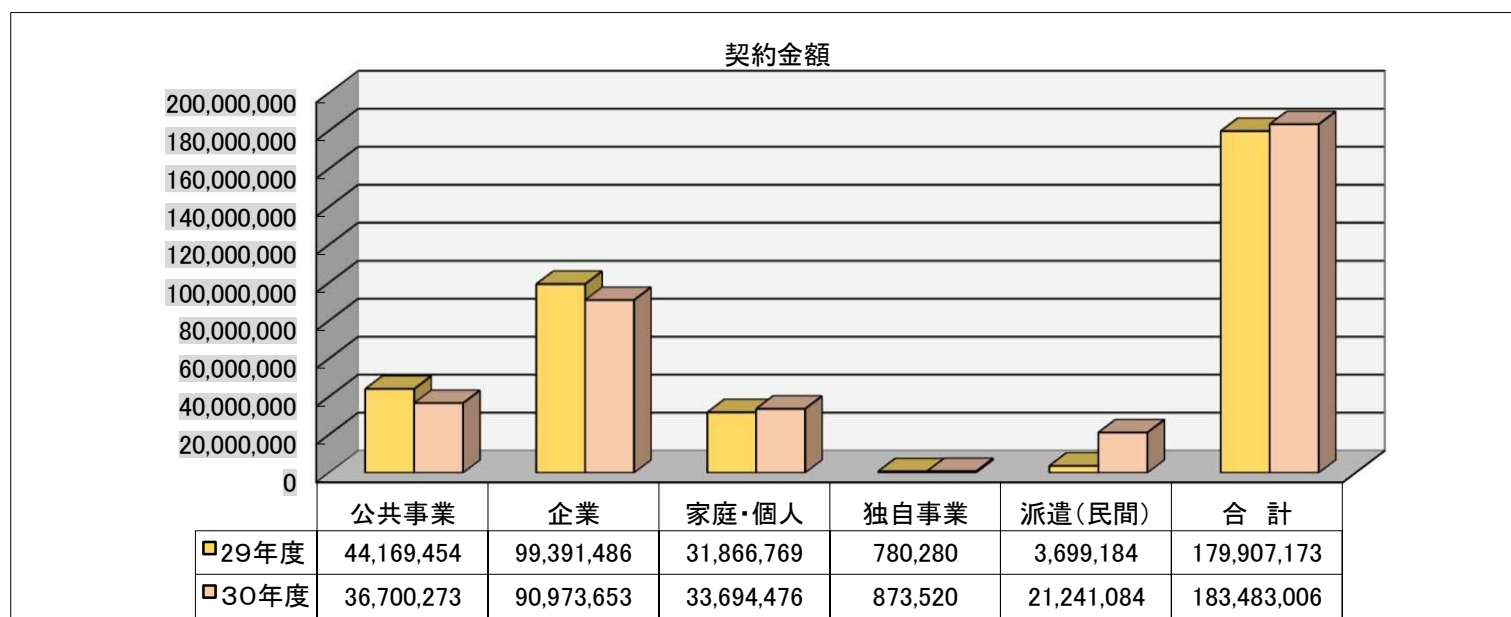
平成30年4月1日～平成31年3月31日

事項及び区分	受注件数	就業延人員	契約金額				金額比率	
			配分金	材料費等	事務費	合計		
職群別内容	1.技術群	4	50	130,328	162,500	6,519	299,347	0.2%
	2.技能群	767	4,409	24,161,907	5,493,225	1,140,580	30,795,712	19.0%
	3.事務整理群	9	60	308,968	6,100	13,473	328,541	0.2%
	4.管理群	26	5,598	28,939,749	500,583	1,430,293	30,870,625	19.0%
	5.折衝外交群	8	2,206	7,374,432	0	361,920	7,736,352	4.8%
	6.軽作業群	789	18,058	75,710,256	4,064,046	3,570,773	83,345,075	51.3%
	7.サービス群	111	3,997	8,433,702	29,168	403,100	8,865,970	5.5%
	合計	1,714	34,378	145,059,342	10,255,622	6,926,658	162,241,622	100.0%
公共民間別	1.公共事業	189	6,958	31,476,160	3,685,103	1,539,010	36,700,273	22.6%
	2.民間事業	1,525	27,420	113,583,182	6,570,519	5,387,948	125,541,649	77.4%
	企業	297	19,694	83,307,259	3,579,379	4,087,015	90,973,653	56.1%
	家庭、個人	1,220	7,299	29,616,766	2,809,533	1,268,177	33,694,476	20.8%
	独自事業	8	427	659,157	181,607	32,756	873,520	0.5%
	合計	1,714	34,378	145,059,342	10,255,622	6,926,958	162,241,922	100.0%



## 契約高前年度対比

区 分	就業延人員			受注件数			契約金額 (単位:円)		
	29年度	30年度	前年対比	29年度	30年度	前年対比	29年度	30年度	前年対比
公共事業	8,039	6,958	86.6%	218	189	86.7%	44,169,454	36,700,273	83.1%
民間事業	28,627	27,420	95.8%	1,514	1,525	100.7%	132,038,535	125,541,649	95.1%
企業	21,298	19,694	92.5%	298	297	99.7%	99,391,486	90,973,653	91.5%
家庭・個人	6,907	7,299	105.7%	1,211	1,220	100.7%	31,866,769	33,694,476	105.7%
独自事業	422	427	101.2%	5	8	160.0%	780,280	873,520	111.9%
派遣(民間)	486	3,009	619.1%	2	12	600.0%	3,699,184	21,241,084	574.2%
合 計	37,152	37,387	100.6%	1,734	1,726	99.5%	179,907,173	183,483,006	102.0%



# 賛助会員名簿

平成31年3月31日（順不同・敬称略）

賛助会員名	所在地
コイト電工(株) 富士長泉工場	長泉町南一色
南駿農業協同組合 長泉支店	〃 下土狩
帝人(株) 三島事業所	〃 上土狩
東レ(株) 三島工場	三島市
特種東海製紙(株)	長泉町本宿
長泉町商工会	〃 下土狩
日商産業(株)	〃 東野
深澤電工(株)	〃 桜堤
三島信用金庫 下土狩支店	〃 下土狩
(株)山口製作所	沼津市足高
(株)不二精機製造所	長泉町下土狩
(有)井出園芸	〃 元長窪
(株)山本	〃 下土狩
長泉環境(株)	〃 本宿
(株)三島ダイハツ	〃 下土狩
山一金属(株)	〃 本宿
西島農機	〃 納米里
三島燃料(株)	〃 下土狩
大静高圧(株)	〃 本宿
(株)共同開発	〃 下土狩
杉山 清策	〃 下土狩
沼田 好策	〃 本宿

第1号議案

平成30年度収支決算について

平成30年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター収支決算について、  
定款第36条第2項の規定により承認を求める。

令和元年 6月21日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター  
理事長 内田 将善

# 貸借対照表

平成31年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	146,202	78,492	67,710
当座預金	3,759,840	5,804,420	△ 2,044,580
普通預金	3,635,975	6,682,125	△ 3,046,150
未収金	15,042,559	14,233,779	808,780
仮払金	0	0	0
立替金	10,500	9,500	1,000
流動資産合計	22,595,076	26,808,316	△ 4,213,240
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	1,072,673	1,072,673	0
固定資産取得積立資産	0	0	0
財政運営資金積立資産	0	2	△ 2
30周年記念行事積立資産	0	1,660,000	△ 1,660,000
特定資産合計	1,072,673	2,732,675	△ 1,660,002
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	859,316	1,732,498	△ 873,182
什器備品	157,050	226,771	△ 69,721
出資金	10,000	10,000	0
電話加入権	224,224	224,224	0
預託金	52,780	52,780	0
その他固定資産合計	1,303,370	2,246,273	△ 942,903
固定資産合計	2,376,043	4,978,948	△ 2,602,905
資産合計	24,971,119	31,787,264	△ 6,816,145
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	12,355,429	12,675,204	△ 319,775
前受金	32,781	57,081	△ 24,300
預り金	507,836	465,489	42,347
仮受金	1,992	9,229	△ 7,237
流動負債合計	12,898,038	13,207,003	△ 308,965
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	12,898,038	13,207,003	△ 308,965
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	12,073,081	18,580,261	△ 6,507,180
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 1,072,673 )	( 2,732,673 )	( △ 1,660,000 )
正味財産合計	12,073,081	18,580,261	△ 6,507,180
負債及び正味財産合計	24,971,119	31,787,264	△ 6,816,145

# 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	162,241,964	176,207,989	△ 13,966,025
受取配分金	145,059,342	158,647,619	△ 13,588,277
受取材料費等	10,255,664	9,958,298	297,366
受取事務費	6,926,958	7,602,072	△ 675,114
施設管理委託収益	720,000	720,000	0
施設管理委託収益	720,000	720,000	0
労働者派遣事業等受託収益	1,936,043	329,807	1,606,236
労働者派遣事業等受託収益	1,936,043	329,807	1,606,236
受取会費	963,000	961,000	2,000
正会員受取会費	748,000	746,000	2,000
賛助会員受取会費	215,000	215,000	0
受取補助金等	22,239,000	21,241,000	998,000
受取連合交付金	8,739,000	7,741,000	998,000
受取(町)補助金	13,500,000	13,500,000	0
特定資産運用益	133	254	△ 121
特定資産受取利息	133	254	△ 121
雑収益	3,444	9,815	△ 6,371
受取利息	44	60	△ 16
雑収益	3,400	9,755	△ 6,355
経常収益計	188,103,584	199,469,865	△ 11,366,281
(2) 経常費用			
事業費	187,017,557	197,669,729	△ 10,652,172
支払配分金	145,059,342	158,647,619	△ 13,588,277
支払材料費等	10,555,918	9,761,228	794,690
給料手当	8,655,011	8,994,105	△ 339,094
法定福利費	2,891,374	2,704,702	186,672
退職給付費用	752,070	600,096	151,974
福利厚生費	41,392	42,798	△ 1,406
会議費	86,209	107,705	△ 21,496
旅費交通費	288,872	291,145	△ 2,273
通信運搬費	578,025	642,008	△ 63,983
減価償却費	942,903	1,822,180	△ 879,277
消耗什器備品費	356,400	91,908	264,492
消耗品費	518,201	1,014,579	△ 496,378
修繕費	182,691	101,916	80,775
印刷製本費	258,120	317,240	△ 59,120
光熱水料費	614,509	637,323	△ 22,814
賃借料	1,484,011	1,293,877	190,134
保険料	1,758,023	1,756,249	1,774
諸謝金	9,724,782	6,411,375	3,313,407
租税公課	341,784	468,432	△ 126,648
支払負担金	29,000	14,000	15,000
委託費	1,872,389	1,932,086	△ 59,697
支払手数料	23,531	7,120	16,411
雑費	3,000	10,038	△ 7,038
管理費	7,593,207	5,470,818	2,122,389
給料手当	1,754,732	2,248,523	△ 493,791
法定福利費	431,387	474,311	△ 42,924
退職給付費用	118,010	120,024	△ 2,014
福利厚生費	65,222	43,181	22,041
会議費	127,824	146,846	△ 19,022

# 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
旅費交通費	647,356	455,231	192,125
通信運搬費	86,022	51,197	34,825
減価償却費	0	1,387	△ 1,387
消耗品費	407,708	57,431	350,277
修繕費	7,122	7,871	△ 749
印刷製本費	649,536	136,080	513,456
光熱水料費	68,275	70,813	△ 2,538
賃借料	268,323	122,433	145,890
保険料	58,557	58,921	△ 364
諸謝金	631,825	452,648	179,177
租税公課	2,816	7,768	△ 4,952
支払負担金	518,780	490,780	28,000
委託費	317,568	159,222	158,346
支払手数料	346,825	366,151	△ 19,326
報償費	1,070,205	0	1,070,205
雑費	15,114	0	15,114
経常費用計	194,610,764	203,140,547	△ 8,529,783
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,507,180	△ 3,670,682	△ 2,836,498
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,507,180	△ 3,670,682	△ 2,836,498
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度収益修正	0	231,646	△ 231,646
固定資産過年度収益修正	0	231,646	△ 231,646
経常外収益計	0	231,646	△ 231,646
(2) 経常外費用			
過年度損失修正	0	9,852	△ 9,852
固定資産過年度損失修正	0	9,852	△ 9,852
経常外費用計	0	9,852	△ 9,852
当期経常外増減額	0	221,794	△ 221,794
当期一般正味財産増減額	△ 6,507,180	△ 3,448,888	△ 3,058,292
一般正味財産期首残高	18,580,261	22,029,149	△ 3,448,888
一般正味財産期末残高	12,073,081	18,580,261	△ 6,507,180
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	12,073,081	18,580,261	△ 6,507,180

## 正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	155,587,626	6,654,338	162,241,964
受取配分金	145,059,342	0	145,059,342
受取材料費等	10,255,664	0	10,255,664
受取事務費	272,620	6,654,338	6,926,958
施設管理委託収益	720,000	0	720,000
施設管理委託収益	720,000	0	720,000
労働者派遣事業等受託収益	1,936,043	0	1,936,043
労働者派遣事業等受託収益	1,936,043	0	1,936,043
受取会費	481,500	481,500	963,000
正会員受取会費	374,000	374,000	748,000
賛助会員受取会費	107,500	107,500	215,000
受取補助金等	22,239,000	0	22,239,000
受取連合交付金	8,739,000	0	8,739,000
受取(町)補助金	13,500,000	0	13,500,000
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	109	24	133
特定資産受取利息	109	24	133
雑収益	3,444	0	3,444
受取利息	44	0	44
雑収益	3,400	0	3,400
経常収益計	180,967,722	7,135,862	188,103,584
(2) 経常費用			
事業費	187,017,557	0	187,017,557
支払配分金	145,059,342	0	145,059,342
支払材料費等	10,555,918	0	10,555,918
給料手当	8,655,011	0	8,655,011
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	2,891,374	0	2,891,374
退職給付費用	752,070	0	752,070
福利厚生費	41,392	0	41,392
会議費	86,209	0	86,209
旅費交通費	288,872	0	288,872
通信運搬費	578,025	0	578,025
減価償却費	942,903	0	942,903
消耗什器備品費	356,400	0	356,400
消耗品費	518,201	0	518,201
修繕費	182,691	0	182,691
印刷製本費	258,120	0	258,120
光熱水料費	614,509	0	614,509
賃借料	1,484,011	0	1,484,011
保険料	1,758,023	0	1,758,023
諸謝金	9,724,782	0	9,724,782
租税公課	341,784	0	341,784
支払負担金	29,000	0	29,000
委託費	1,872,389	0	1,872,389
教材費	0	0	0
支払手数料	23,531	0	23,531
雑費	3,000	0	3,000
管理費	0	7,593,207	7,593,207
給料手当	0	1,754,732	1,754,732



## 正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	0	431,387	431,387
退職給付費用	0	118,010	118,010
福利厚生費	0	65,222	65,222
会議費	0	127,824	127,824
旅費交通費	0	647,356	647,356
通信運搬費	0	86,022	86,022
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	407,708	407,708
修繕費	0	7,122	7,122
印刷製本費	0	649,536	649,536
光熱水料費	0	68,275	68,275
賃借料	0	268,323	268,323
保険料	0	58,557	58,557
諸謝金	0	631,825	631,825
租税公課	0	2,816	2,816
支払負担金	0	518,780	518,780
委託費	0	317,568	317,568
支払手数料	0	346,825	346,825
報償費	0	1,070,205	1,070,205
雑費	0	15,114	15,114
経常費用計	187,017,557	7,593,207	194,610,764
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,049,835	△ 457,345	△ 6,507,180
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,049,835	△ 457,345	△ 6,507,180
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度収益修正	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,049,835	△ 457,345	△ 6,507,180
一般正味財産期首残高	18,073,326	506,935	18,580,261
一般正味財産期末残高	12,023,491	49,590	12,073,081
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0
指定正味財産期末残高		0	0
III 正味財産期末残高	12,023,491	49,590	12,073,081

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 会計処理の基準については、公益法人会計基準(平成20年基準)に準拠している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定率法により直接減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
減価償却引当資産	1,072,673	0	0	1,072,673
財政運営資金積立資産	2	0	2	0
固定資産取得積立資産	0	0	0	0
30周年記念事業積立資産	1,660,000	840,000	2,500,000	0
合 計	2,732,675	840,000	2,500,002	1,072,673

\* 特定資産は一般正味財産からの充当額である。

### 3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	12,600,713	11,741,397	859,316
什器備品	700,990	543,940	157,050
合 計	13,301,703	12,285,337	1,016,366

### 4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	15,042,559	0	15,042,559
合 計	15,042,559	0	15,042,559

## 5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	国	0	8,739,000	8,739,000	0	-
運営費補助金	町	0	13,500,000	13,500,000	0	-
合計		0	22,239,000	22,239,000	0	

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	手許有高	運転資金として	146,202
当座預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	3,759,840
普通預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	640,395
	三島信用金庫下土狩支店	運転資金として	2,967,898
	スルガ銀行下土狩駅支店	運転資金として	27,682
未収金		公益目的事業未収金として	15,042,559
仮払金			0
立替金		公益目的事業立替金として	10,500
<b>流動資産合計</b>			<b>22,595,076</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
減価償却引当資金	定期預金・南駿農協長泉支店	減価償却資産買換え資金として管理	1,072,673
財政運営資金積立資産	普通預金・南駿農協長泉支店	財政安定資金として管理	0
30周年記念行事積立資産		記念事業積立として管理	0
特定資産合計			1,072,673
<b>(2) その他の固定資産</b>			
車両運搬具	車両 7台	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	859,316
什器備品	ショーケース1台 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業用として	157,050
出資金	三島信用金庫下土狩支店	公益目的事業用として	10,000
電話加入権	3回線	(共用財産)公益目的保有財産であり、公益目的事業用と管理運営の用に供している。	224,224
預託金		公益目的事業用として、自動車リサイクル料金	52,780
その他固定資産合計			1,303,370
<b>固定資産合計</b>			<b>2,376,043</b>
<b>資産合計</b>			<b>24,971,119</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	会員	3月分配分金他	12,355,429
前受金	会員	次年度会費他前受金	32,781
預り金	社員	社会保険料等の預り金	507,836
仮受金		公益目的事業仮受金として	1,992
<b>流動負債合計</b>			<b>12,898,038</b>
<b>負債合計</b>			<b>12,898,038</b>
<b>正味財産</b>			<b>12,073,081</b>

## 第2号議案

### 役員（理事・監事）の選任について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター役員（理事・監事）の選任について、定款第21条の規定により承認を求める。

令和元年 6月21日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

理事長 内田 将善

### 役員候補者名簿

任期 令和元年定時総会時～令和3年定時総会時

番号	役職名	候補者氏名	
1	理事	内田 将善	
2	理事	高橋 忠昭	
3	理事	勝間田 一夫	
4	理事	加藤 種雄	
5	理事	松崎 雅敏	
6	理事	米原 敏子	
7	理事	押山 昌弘	
8	理事	繁松 紀弘	
9	理事	松井 功	
10	理事	後藤 照代	
11	理事(新任)	山口 素行	
12	理事(新任)	岡沢 啓造	
13	理事(新任)	渡辺 秀子	
14	理事	山田 文和	
15	監事(新任)	関 知典	
16	監事(新任)	杉山 孝二	

# 《 参 考 資 料 》

役 員 表 彰 者 名 簿

会 員 在 籍 2 0 年 表 彰 者 名 簿

会 員 在 籍 1 0 年 表 彰 者 名 簿

令 和 元 年 度 事 業 計 画

令 和 元 年 度 収 支 予 算

役 員 名 簿 ( 案 )

部 会 ・ 委 員 会 名 簿

地 域 班 長 名 簿

職 域 班 世 話 人 名 簿

長 泉 町 シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー 組 織 図

安 全 心 得 1 0 ケ 条

(順不同・敬称略)

## 役員表彰者名簿

寺内 伊三夫 山本 博 2名

## 会員在籍20年 表彰者名簿

富岡 とし子 勝間田 一夫 水越 吉郎

3名

平成10年4月1日から平成11年3月31日までに入会

## 会員在籍10年 表彰者名簿

(順不同・敬称略)

岩崎 和子	小野寺エミ子	久保 寿夫
佐藤 峯子	乙部 充	佐川 嘉信
後藤 洋子	勝亦 正子	金子 利光
青柳 俊子	渡邊 邦子	坂本 貢
坂本 貢	小宮 正幸	古谷 伸雄
角田 俊子	佐藤 政一	山岡 芳子
山田 稔	小野 勝年	

20名

平成20年4月1日から平成21年3月31日までに入会

## 令和元年度 事業計画

平成31年1月1日現在の65歳以上人口が3,562万人を超え、我が国の総人口の28.2%を占めることになり、長泉町も21.7%と超高齢社会に突入する時代にあって、定年制の延長や再雇用制度の導入、年金受給年齢の引き上げや労働力人口の減少など、高齢者を取り巻く社会情勢が大きく変わっています。

このような中、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、就業を通して健康で豊かな生活と積極的な社会参加による生きがいの充実を図ることを目的とするシルバー人材センターの存在意義、またその果たす役割は大きく、「生涯現役社会」の実現に向けた地域の担い手としてますます期待が寄せられているところです。

当センターは、昭和63年3月に事業開始以来、更なる飛躍を目指して、シルバー人材センターの最重要課題である就業機会の拡大・確保や会員の増加に積極的に取り組むとともに、当町が重点施策の柱として掲げている「高齢者支援、子育て支援」の施策展開を図り、公益社団法人としてより法令を遵守し、地域社会に根ざした法人として取り組んでまいります。

また、会員が求める多様な働き方に対応した雇用・就業機会を確保するため、シルバー派遣事業や新たな受託事業の開拓に努め会員の増加を図り、技能を必要とする就業においては後継者の育成を促進し、更に、会員及び役職員が一丸となって精力的に事業を展開してまいります。

### 1. 重点目標

#### (1) 会員増加と受注の拡大に努力いたします。

労働者人口が減少する中、会員が減少し受注が伸びない状況が続いています。

福利厚生等の充実に取り組み会員の増加を図り、会員と役職員とが力を合わせ、既存受注の定着及び拡大や新規受注の確保、介護関連事業の開拓を図るとともに、請負業務の見直しによりシルバー派遣事業への切り替えや新規開拓に努め、会員の就業機会の確保に取り組んでまいります。

#### (2) 信頼されるシルバー人材センターとなるよう努めます。



新入会員の増加を図るため、ワークプラザ等を利用した各種講習会・研修会やふれあい文化祭を実施し、会員の知識・技能の向上を図りながら、各種ルールを徹底し会員の能力・資質向上に努めます。また、お客様の声を把握し、お客様のニーズに応える誠実な仕事で信頼していただけるよう努めてまいります。

更に、ボランティア活動などによる社会参加を促進し、信頼されるシルバー人材センターになるよう努めてまいります。

### (3) 基本理念である「自主・自立、共働・共助」の推進を図ります。

会員、役員、職員との連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、会員自らの意識を改革し、受注先開拓・受注作業の円滑な処理・就業機会の均衡化など、自主的・主体的な活動の推進に努めてまいります。

更に、会員の安全就業・健康管理の注意を喚起し、事故“ゼロ”の実現に努めてまいります。

事業の適正な運営を期すために、行政機関・県シ連及び周辺シルバー人材センターと連携を密にし、着実かつ健全な発展に努め、地域社会に貢献してまいります。

## 2. 具体的な実施計画

### (1) 普及啓発活動の積極的推進

シルバー事業の趣旨普及と会員増強を図るため、町広報、会報「いぶしぎん」、パンフレット、インターネット等を積極的に活用し、行事等への参加より町民の方々及び事業所への普及に努めます。

### (2) 組織の強化充実

事業運営の基盤を強化するため、部会及び地域班・職域班の意見交換など連携を密にし、活動を活発化して組織の充実を進めます。

組織機能強化、会員増加のため、会員募集チラシを作成し、「新入会員拡大の推進に関する報奨金制度」を利用した、会員一人ひとりに取り組む「入会希望者勧誘・紹介事業」の実践に努めます。

### (3) 就業に関する知識、技能の向上

お客様の信頼とニーズに応えるため、会員に就業上の必要な知識・技能の向上を目的とし、各種研修会・講習会に積極的な参加を図ります。

更に、植木剪定講習等を実施し、後継者の育成及び会員のスキルアップを図ります。

#### (4) 安全就業の推進

シルバー就業は、会員が安全に就業できることが最優先であり、交通事故や就業中の事故ゼロを目指して、安全対策の蓄積と意識高揚、啓発に努めます。

- ① 安全委員会の開催（年3回）及び安全パトロールの実施（年2回）
- ② 交通安全講習会の実施
- ③ 安全就業研修会、各種技能・技術講習会等への参加
- ④ 事故原因の分析、事故防止対策の検討
- ⑤ KY（危険予知）活動の実施

#### (5) 就業機会の開拓と確保

あらゆる機会を捉え広報活動を強化し、公共機関及び企業・一般家庭等にシルバー事業の理解を求め、短期・短時間就業であつてもお引き受けさせて頂くなど受注拡大に努めるとともに、既受注先や新規事業所に企業訪問を実施し、新たな就業の開拓に努めます。さらに「空き家対策事業」など新たな就業機会拡大のため、役職員・会員一人ひとりが「会員一人一仕事紹介」の実践に努め、誰でもできる軽作業の検討をしていきます。

#### (6) 就業機会の均衡化

会員の能力と希望に応じて公平に就業機会が得られるよう、ローテーションを組むなど均衡化を図り、ワークシェアリングの精神に基づき、長期就業の改善のため、適正就業に関する取扱要領に基づき均衡化を図ります。

併せて、未就業会員の就業促進を図ります。

#### (7) ワークプラザを拠点とした事業の推進

各種講習会・研修会を開催して会員の質的向上を図り、ワークプラザを拠点とした独自活動の拡大と、会員同士の交流、居場所づくりを推進し、退会抑制を図ります。

#### (8) 福祉家事援助サービス事業の推進

超高齢社会の中にあつて、介護保険の制度改正に伴い、地域における介護関連事業の重要性が増しており、当センターにも期待が寄せられております。

今後、需要が増加する介護保険総合事業の関連サービス対応した事業の検討をするとともに、介護有資格者の活用や家事援助等の講習会を実施し、会員の拡充と技術の向上を図ります。

## (9) シルバー派遣事業の推進

請負や委任業務について、指揮命令を伴う仕事はシルバー派遣事業に切り替えるなど、法令遵守に基づく適正就業を推進するとともに、新たな受注拡大と就業形態への対応及び多様な就業を確保するため県シ連と連携して派遣事業に積極的に取り組んでいきます。

## (10) 職業紹介事業への取り組み

高齢社会を迎え、定年退職者等においても臨時的かつ短期的又は軽易な雇用・就業の場を求める高齢者が増加していることから、このようなニーズに適切に対応し、有料職業紹介事業の導入を行い派遣への切替えを進めていきます。

## (11) シルバー人材センター事業の目的を達成するための諸活動

### ① 独自事業の展開

会員ふれあい文化祭や、福祉健康祭りへの出展等を通して、会員の趣味・特技を生かした各種サークル活動を充実し、次のステップとして独自事業への発展を促します。

### ② 地域社会奉仕活動

会員による町内一斉清掃ボランティア活動や桜堤の遊歩道清掃活動を展開し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに、会員個人としても通学児童の見守り隊をはじめ、各種ボランティア活動や地域活動にも参加して地域社会に貢献していきます。

### ③ 会員への福利厚生活動

会員相互の親睦を深め、シルバー人材センター事業の活性化と心豊かな仲間づくりを図るため、互助会の活動に積極的な支援をしていきます。

特に会員交流行事や、生きがいや楽しみを求めて行う各種サークル活動を支援し、魅力あるセンターづくりを目指します。

また、役職員は秘密厳守で会員の悩み事の解決を一緒に考えていきます。

# 令和元年度 収支予算書（会計区分別）

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000			1,000
受取会費	465,000	465,000	0	930,000
正会員受取会費	370,000	370,000		740,000
賛助会員受取会費	95,000	95,000		190,000
事業収益	155,723,000	4,077,000	0	159,800,000
受取配分金	140,800,000			140,800,000
受取材料費等	10,200,000			10,200,000
受取事務費	4,723,000	4,077,000		8,800,000
労働者派遣事業等受託収入	2,793,000	0		2,793,000
労働者派遣事業等受託収入	2,793,000			2,793,000
職業紹介事業受託収益	1,000	0		1,000
職業紹介事業受託収益	1,000			1,000
受取補助金等	25,889,000	0	0	25,889,000
受取連合交付金	12,389,000			12,389,000
受取町補助金	13,500,000			13,500,000
受取寄付金	1,000	0	0	1,000
受取寄付金	1,000			1,000
施設管理委託収益	727,000	0	0	727,000
施設管理委託	727,000			727,000
雑収益	3,000	0	0	3,000
受取利息	1,000			1,000
雑収益	2,000			2,000
<b>経常収益計</b>	<b>185,603,000</b>	<b>4,542,000</b>	<b>0</b>	<b>190,145,000</b>
(2) 経常費用				
事業費	185,426,000		0	185,426,000
支払配分金	140,800,000			140,800,000
支払材料費等	10,200,000			10,200,000
給料手当	6,747,000			6,747,000
臨時雇賃金	1,000			1,000
法定福利費	3,326,000			3,326,000
退職給付費用	930,000			930,000
福利厚生費	67,000			67,000
会議費	123,000			123,000
旅費交通費	379,000			379,000
通信運搬費	522,000			522,000
減価償却費	903,000			903,000
消耗什器備品費	60,000			60,000
消耗品費	1,068,000			1,068,000
修繕費	117,000			117,000
印刷製本費	577,000			577,000
光熱水料費	681,000			681,000

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
賃借料	1,528,000			1,528,000
保険料	1,772,000			1,772,000
諸謝金	13,125,000			13,125,000
租税公課	477,000			477,000
支払負担金	47,000			47,000
委託費	1,940,000			1,940,000
教材費	1,000			1,000
支払手数料	10,000			10,000
雑費	25,000			25,000
管理費		4,542,000	0	4,542,000
給料手当		1,264,000		1,264,000
臨時雇賃金		1,000		1,000
法定福利費		232,000		232,000
退職給付費用		90,000		90,000
福利厚生費		95,000		95,000
会議費		220,000		220,000
旅費交通費		615,000		615,000
通信運搬費		82,000		82,000
減価償却費		1,000		1,000
消耗什器備品費		1,000		1,000
消耗品費		36,000		36,000
修繕費		13,000		13,000
印刷製本費		150,000		150,000
光熱水料費		76,000		76,000
賃借料		347,000		347,000
保険料		64,000		64,000
諸謝金		1,000		1,000
租税公課		7,000		7,000
支払負担金		589,000		589,000
委託費		243,000		243,000
支払手数料		414,000		414,000
雑費		1,000		1,000
<b>経常費用計</b>	<b>185,426,000</b>	<b>4,542,000</b>	<b>0</b>	<b>189,968,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	177,000	0	0	177,000
当期経常増減額	177,000	0	0	177,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
過年度減価償却益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
過年度減価償却損				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減	177,000	0	0	177,000
一般正味財産期首残高	18,073,326	506,935	0	18,580,261
一般正味財産期末残高	18,250,326	506,935	0	18,757,261
Ⅱ 正味財産期末残高	18,250,326	506,935	0	18,757,261

## 収支予算書に係る注記

### 1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減
<b>【投資活動収支の部】</b>			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	14,900,000	△ 14,900,000
30周年記念事業積立資産取崩収入	0	2,500,000	△ 2,500,000
財政運営資金資産取崩収入	0	12,400,000	△ 12,400,000
投資活動収入計	0	14,900,000	△ 14,900,000
(投資活動支出)			
特定資産取得支出	0	12,400,000	△ 12,400,000
減価償却引当資産取得支出			
財政運営資金資産取得支出	0	12,400,000	△ 12,400,000
投資活動支出計	0	12,400,000	△ 12,400,000

### 2. 借入金限度額

令和元年度における短期借入金限度額は、10,000,000円とする。

### 3. 債務負担額

(単位:円)

年 度	金 額	内 容
令和元年度	2,949,696	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和2年度	2,882,736	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和3年度	2,788,992	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料

# 部 会 ・ 委 員 会 名 簿

任期 平成 29 年定時総会時～平成 31 年定時総会時

※新年度の部会・委員会は総会終了後選任します。

## 1. 専門部会

### (1)総務部会

(順不同、敬称略)

理 事	山本 博 (部会長)	米原 敏子	押山 昌弘
会 員	石原 良明(副部会長)	関 知典	杉山八重子
事務局	杉山恵美子		

### (2)事業部会

理 事	寺内 伊三夫 功(部会長)	勝間田 一夫	加藤 種雄	稲田 ときゑ
会 員	杉澤 博夫(副部会長)	大塚 睦志		
事務局	小西 哲哉			

### (3)広報部会

理 事	松崎 雅敏(部会長)	松井 功	後藤 照代	
会 員	鈴木 斐子(副部会長)	芳賀 さと子	岡沢 啓造	
事務局	白畑由美子			

## 2. 安全委員会

安全委員(理事 4 名、会員 4 名、事務局 1 名)

理 事	勝間田一夫(委員長)	加藤 種雄	繁松 紀弘	山田 文和
会 員	小野 勝年(副委員長)	本間作之助	早津 知子	秋山 勝
事務局	石黒 正行			

## 3. 理事監事候補者選考委員会

理事監事候補者選考委員(理事 3 名、会員 4 名)

理 事	寺内 伊三夫	米原 敏子	押山 昌弘	
会 員	杉澤 博夫(委員長)	石原 良明(副委員長)	土屋 昭治	

# 地域班長名簿

任期 令和元年定時総会時～令和3年3月31日

(敬称略)

地区	班名	地域	班長名
長窪地区	1 班	元長窪、上長窪、屋代	霞 登
	2-1 班	下長窪、谷津	石原 良明
	2-2 班	池田、尾尻	中村 三重子
南一色、 納米里 地区	3 班	駿河平、南一色	関 知典
	4 班	納米里	眞田 平和
上土狩、 中土狩 地区	5 班	上土狩、惣ヶ原、桜堤	小川 新一郎
	6 班	中土狩	早津 知子
下土狩 1 地区	7-1 班	鮎壺、荻素	土屋 昭治
	7-2 班	新屋町上、新屋町中 新屋町下	田口 鈴代
	8 班	駅上、駅中、駅下、薄原上 薄原下	加藤 宏司
下土狩 2 地区	9 班	西、原、東	杉山美智子
	10 班	原分、杉原、三軒家	大塚 睦志
竹原、本宿 地区	11 班	高田、竹原	清水 清吾
	12 班	本宿	秋山 久



# 職域班世話人名簿

任期 令和元年定時総会時～令和3年3月31日

(敬称略)

班名	氏名
造園グループ (植木、草刈、収集)	本間 作之助 (植木1班) 古谷 伸雄 (植木2班) 下山 一人 (植木3班) 石原 廣一郎 (草刈り1班) 加藤 種雄 (草刈り2班) 井出 正義 (収集班)
木工班	山田 耕作
手作り班	長島 君子
若草班 (草取り)	大内 次男 田口 鈴代
サポート班 (介護、子育て支援、家事援助)	芳賀 さと子
美化班 (企業内清掃)	椎田 和紀
リフォームひまわり班	杉山 美智子
管理グループ	加藤 宏司
表装班	西尾 正久

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター 組織図

